

事業展開項目			内容（全体計画）	R5 取組実績 Do	評価 Check	改善 Action	R6 計画 Plan	R6 取組実績 Do
愛知万博記念の森としての保全	地域区分別整備	①施設ゾーン	景観の保全整備のための立木伐採等 	・むささびっ子による活動実施中 ・CKDによる遊歩施設整備、森林整備 ・アズマヤプロジェクトによる東屋建設開始 ・本館ウッドデッキ修繕工事中の迂回路は仮設階段を設置	・むささびっ子の活動やアズマヤプロジェクトについては、センター職員が積極的に支援	・アズマヤプロジェクトで設置する東屋につながる遊歩道の新設が必要	・企業や関係団体等との協働、連携による活動 ・アズマヤプロジェクトによる東屋設置 ・新規の遊歩道整備を実施	・むささびっ子による整備活動 ・CKDによる森林整備・遊歩施設整備 ・アズマヤプロジェクトによる東屋建設中 ・新規の遊歩道整備工事実施
		②ふれあいの里	作業体験農地の耕地管理（毎年0.3～0.5ha） 	・耕地管理をNPO法人海上の森の会に委託	・計画通り実施	—	・耕地管理をNPO法人海上の森の会に委託	・耕地管理をNPO法人海上の森の会に委託
			里山環境として保全する農地 	・農地保全をNPO法人海上の森の会に委託（作業体験農地を含む） ・農地及び農地周辺の草刈りを業者に委託（品野台造園） ・イノシシ柵の補強・補修を実施 ・企業等連携として農地貸与を継続（3件） マリアムキッチン0.01ha、カルビー0.01ha、よりあい工房ばんどり0.01ha	・予算の範囲内で必要な箇所の委託を実施 ・企業等連携はこれまでどおり実施 ・イノシシ被害により収穫の無い田畑があった	・休耕田の維持管理が課題 ・休耕田の草刈り労力をどうするか ・イノシシ柵の継続的な補強・補修	・農地保全をNPO法人海上の森の会及び業者に委託 ・イノシシ柵の補強・補修を随時実施	・農地保全をNPO法人海上の森の会に委託（作業体験農地を含む） ・農地及び農地周辺の草刈りを業者に委託（品野台造園） ・イノシシ柵の補強・補修 ・企業連携として農地貸与を継続（3件） マリアムキッチン0.01ha、カルビー0.01ha、よりあい工房ばんどり0.01ha
			農地等周辺の間伐等（区域面積5.66ha） 	・海上の森の会（森づくりグループ）による森林整備（除伐）を実施	・草刈りや除伐を実施し、間伐は取りやめた ・会員は引き続き間伐を実施したい意向	・間伐をするための調査を実施 ・チェーンソーを使用するには、講師による講習や安全講習を求める	・海上の森の会（森づくりグループ）による森林整備	・海上の森の会（森づくりグループ）による森林整備（除伐） ・豊田自動織機による森林整備（除伐）
		③生態系保護区域	湿地周辺の立木伐採等 	・大和リースによる整備の実施（11/29） ・湿地サミットへの協力（5/23）	・計画通り実施	—	・継続して環境局・企業・センターとで3者協定している企業による湿地周辺の森林整備	・大和リース・環境局による森林整備の実施（5/29）
		④恵みの森	人工林の整備（間伐対象林約30ha）期間中に15ha間伐 	・治山事業による本数調整伐を実施（2.47ha） ・危険木等の除去等及び散策道の草刈り	・必要となる対応を臨機に実施 ・R5度末で計12.87ha実施済、残2.13ha	・巡視等により枯損木や危険木の発見に努める	・治山事業による本数調整伐 ・危険木等の除去等必要な対応を随時実施	・治山事業による本数調整伐を実施予定 ・危険木等の除去等必要な対応を随時実施中
			複層林・針広混交林等への誘導（小面積皆伐等） 湿地周辺の立木伐採 	・林道、散策道の草刈り ・小面積皆伐の検討開始	・対応が必要な箇所について実施	・森林を全体計画の内容に導くべくモデル地区の検討が必要	・林道、散策道の補修や草刈りの実施 ・小面積皆伐の検討を継続	・林道、散策道の補修や草刈りを必要に応じて随時対応
		⑤循環の森	人工林の整備（間伐対象林約50ha）期間中に25ha実施 	・治山事業による本数調整伐を実施（1.97ha） ・尾張農林水産事務所による治山事業を実施 ・森女養成講座の修了生による森林整備 ・ワタミ・SEFによる森林整備	・計画通り実施 ・R5度末で計25.83ha実施済 目標達成	・企業等連携による森林整備は、企業等側の希望も聞きつつ、安全第一な内容を検討する	・治山事業による本数調整伐 ・尾張農林水産事務所による治山事業 ・森女養成講座の修了生による森林整備	・治山事業による本数調整伐を実施予定 ・尾張農林水産事務所による治山事業 ・森女養成講座の修了生による森林整備 ・ワタミ・SEFによる森林整備
			複層林・針広混交林等への誘導（小面積皆伐等） 	・林道、散策道の補修や草刈り ・小面積皆伐の検討開始	・対応が必要な箇所について実施	・森林を全体計画の内容に導くべくモデル地区の検討が必要	・林道、散策道の補修や草刈りの実施 ・小面積皆伐の検討を継続	・林道、散策道の補修や草刈りを必要に応じて随時対応
		⑥野鳥・古窯の森	大木の生育環境保全・生育不良木等の伐採 	・危険木等、必要な伐採等の実施	・対応が必要な箇所について実施	—	・危険木等、必要な伐採等の実施	・危険木等、必要な伐採等の随時実施
	自然環境の保全	自然環境の保全	県委託調査（ローテーションで実施） 	・ムササビ・猛禽類調査委託 ・湿地サミットで湿地パネルを展示	・猛禽類の営巣地調査を委託に追加して実施	・保全活用計画に定めた調査を計画通り実施する。	・猛禽類調査委託 ・予算額は要求どおりで、前回と同規模	・猛禽類調査を地域環境計画に委託
			他調査（生物季節調査、モニタリングサイト1000等）との連携、専門家意見聴取・情報の収集・発信 	・猛禽類調査（自主調査）、稀少動物生息状況調査（ムササビ）、他調査（生物季節調査、モニタリングサイト1000）との連携を実施、調査報告書の作成	・計画通り実施 ・調査報告書について、委託調査完了から印刷締め切りまでの期間が短いため、年度末までに作成し、発行は次年度とする。	—	・自主調査（ムササビ、猛禽類）、他調査（生物季節調査、モニタリングサイト1000）との連携、調査報告書の発行	・自主調査（ムササビ、猛禽類）、他調査（生物季節調査、モニタリングサイト1000）との連携
森林や里山の学習と交流の拠点づくり	体験学習の実施 	里と森の教室 毎年10回程度	・海上の森の会へ委託 全15日	・計画通りに実施	—	・海上の森の会に委託（5月～12月）全15日	・海上の森の会に委託（5月～12月）全15日	
		調査学習会（R3以降休止）						
		森のがっこう、ようちえん 年2回程度	・よりあい工房ばんどりに委託して実施 12/3に森のがっこう、森のようちえんを同時開催	・計画通りに実施	—	・よりあい工房ばんどりに委託 森のがっこう、森のようちえんを開催	・よりあい工房ばんどりに委託 12月に開催予定	
		グリーンウッドワークプログラム 年10回程度	・みどりの工作室に委託（全10日）	・計画通りに実施	—	・みどりの工作室に委託（全10日）	・みどりの工作室に委託（全10日） 計画どおりに実施中	
		県民参加による森林環境教育プログラム 	・海上の森の会によるイベント、自然ウォッチング、木工芸教室 ・NPOチームばんどりによる環境教育プログラム むささびっ子の森くらぶ・たんけん隊・開拓団 ・「みのむしックス」等による自然教育プログラム	・計画通りに実施	・海上の森アカデミー修了者等の活動団体への支援	・継続して海上の森アカデミー修了生等との協働等による森林環境教育プログラムの開発・実施 ・多様な団体との協働による環境教育プログラムの実施	・海上の森の会によるイベント（自然ウォッチング、こども講座「森であそぼ！」）を実施 ・NPOチームばんどりによる環境教育プログラム（むささびっ子の森くらぶ・たんけん隊・開拓団）	
	人材の育成	あいち海上の森大学（万博余剰金活用・H28終了）						

事業展開項目		内容（全体計画）	R5 取組実績 Do	評価 Check	改善 Action	R6 計画 Plan	R6 取組実績 Do
森林や里山の学習と交流の拠点づくり	人材の育成	指導者養成講座（森林施業技術者・インタープリター等）   	・森と緑づくり事業による海上の森アカデミーの開催 ①森の自然教育コース(7～8月)全5回、9名受講 ②森女養成コース(9～11月)全6回、8名受講 ③里山暮らしコース(12～1月)全5回、10名受講	・講師との事前の入念な打合せが重要 ・昨年度のアドバンスクラスで実施した内容を森の自然教育コースにおいて実施 ・開催日については講師の予定と調整する必要があり、森女養成コースは秋から春に開催時期変更を検討 ・受講者アンケートの満足度は高い	・今後も講師との事前打ち合わせを入念に実施 ・新たな受講者の募集先の開拓	・講師とセンターによる検討会議の内容を反映させたカリキュラムを企画 ・森と緑づくり事業による海上の森アカデミーの開催 ①森の自然教育コース ②森女養成コース ③里山暮らしコース	・森と緑づくり事業による海上の森アカデミーの開催 ①森女養成コース(4～6月)全6回、8名受講 ②森の自然教育コース(10～11月)全5回 ③里山暮らしコース(11月以降開催予定)
		人と自然の共生国際フォーラム (万博余剰金活用・H28終了)					
		シンポジウム等  	・今年度は持込企画無し	・ポスター展示などは計画通り実施できた	・持込企画の募集等を企画する	・持込企画があればミニセミナーを開催 ・写真やポスター展示のような企画は随時実施	・現在のところ、持込企画無し
		NPO法人海上の森の会等との協働体制づくり 	・海上の森の会へ里と森の教室及耕地管理を委託 ・海上の森の会によるプログラム実施 四季のイベント、森であそぼ！（小学校1～4年生対象）、自然ウォッチング、木工芸教室 ・あいち海上の森交流会(旧あいち海上の森同窓会)の活動支援 センスオブワンダー(7～9月)全4回開催	・計画通り実施	・次期海上の森保全活用計画2026～2035に向け、協働の進め方の検討が必要	・これまでどおり海上の森の会への委託等を継続	・海上の森の会へ里と森の教室及耕地管理を委託 ・海上の森の会によるプログラム実施 四季のイベント、森であそぼ！（小学校1～4年生対象）、自然ウォッチング、木工芸教室 ・あいち海上の森交流会(旧あいち海上の森同窓会)の活動支援 センスオブワンダー(7～9月)全4回開催
	普及・情報発信	インターネット始めSNSの活用、海上の森調査報告書、ムーアカデミー情報誌発行等 	・X(旧Twitter)、Facebook、Youtube等による情報発信、Instagram開設 ・ムーアカデミー通信の発行(2回) ・調査報告書の配布 ・学習教材「自然観察ガイドブック」の有償頒布 ・インフルエンサーによる情報発信 ・デジタルサイネージ(電子看板)放映	・予算削減傾向の中で、必要な情報を発信 ・インフルエンサーやデジタルサイネージの活用による新規の来訪者への取り組み	—	・SNS等による情報発信、調査報告書・ムーアカデミー通信の発行、学習教材「自然観察ガイドブック」の有償頒布 ・海上の森写真真募集	・SNS等による情報発信 ・ムーアカデミー通信の発行(9月末現在1回) ・学習教材「自然観察ガイドブック」の有償頒布 ・海上の森写真真募集予定
		モデル事例提供・NPO交流拠点・ネットワーク形成  	・「NPO・グループ活動発表ひろば」を開催(2～3月) ・団体活動交流会の開催(3/2)	・NPOなどの活動団体の交流の場としてパネル展示や交流会を開催し、情報発信の場を提供できた	・参加団体が増えてきた場合に団体の分野ごとに展示期間を分けることも検討	・NPOなどの活動団体の交流の場、ワークショップ等を開催	・NPOなどの活動団体の交流会を開催予定(2～3月)
		本館・遊歩施設・里山サテライト・案内看板、トイレ、駐車場等の適正な管理	・ウッドデッキ、物見の丘の塔の修繕 ・本館玄関床タイル修繕 ・送排風機修繕	・予算の範囲内で必要な修繕等を実施	・利用者の利便性等を考えて、優先順位の高いものから順次修繕	・老朽化した箇所及び機械設備の修繕 ・ウッドデッキ修繕	・ウッドデッキ修繕工事 ・サテライトトイレ配管・ポンプ修繕 ・老朽化した箇所及び機械設備の修繕
	協働・連携の推進	県民参加組織（NPO法人海上の森の会、あいち自然ネット等）との連携・協働  	・海上の森の会との連携(調査・森林・農地管理)	・計画通り実施 ・連携先が増えてきたことで、センターが対応できない場合もある(駐車場、施設、人員)	・急な行事申込時の調整 ・土日の行事時の駐車台数の増加に伴い、駐車場管理が課題	・海上の森の会との連携(調査・森林・農地管理)、その他団体との連携	・海上の森の会との連携(調査・森林・農地管理)、その他団体との連携
		地元地域との連携 	・せと環境塾の事業に協力 ・センターイベントをせと環境塾の一部に位置づけ、広報せとに掲載 ・瀬戸市内全戸にイベントチラシを回覧 ・水路等地元清掃活動や環境整備への参加協力	・計画以外にも相談された事案には対応できた	・引き続き、地元地域との連携をとっていく	・せと環境塾の事業に協力 ・センターイベントをせと環境塾の一部に位置づけ、広報せとに掲載 ・瀬戸市内全戸にイベントチラシを回覧 ・水路等地元清掃活動や環境整備への参加協力	・せと環境塾の事業に協力 ・センターイベントをせと環境塾の一部に位置づけ、広報せとに掲載 ・瀬戸市内全戸にイベントチラシを回覧
		小中高等学校・大学（学外授業・調査等）との連携   	・学外講義・野外学習 9/20 名古屋大学1年生に海上の森の講義 10/27 名古屋大学3年生に伐採実習 ・調査、研究協力 名古屋大学、名古屋工業大学、愛知学院大学	・協力要請のあったものに関しては全て実施できた	・学生の実習などの場合には現場の事前の安全確認や環境整備が必要のため、事前の調整や準備を十分に行う	・小中高等学校の総合学習・環境学習への協力、大学の学外講義・実習、調査、研究等への協力	・学外講義・野外学習 幡山東小学校5年生 総合学習(6/25) 札幌市立大学2年生 海上の森の講義(8/22) 名古屋大学1年生 海上の森の講義(9/25) 名古屋大学3年生 森林整備実習(10月予定) ・調査、研究協力 名古屋大学、名古屋工業大学、名古屋学芸大学
		関連施設等との連携 	・環境学習スタンプラリーの協力	・計画通り実施	—	・愛知県環境学習施設等連絡協議会(AELネット)等との連携	・愛知県環境学習施設等連絡協議会(AELネット)等との連携 ・陶磁美術館との伐採木活用の準備 ・愛知万博20周年記念式典記念品への間伐材提供
		企業連携（森林整備等）  	・企業による森林整備や森林環境保全活動の実施(伊藤園、カルビー、ワタミ・SEF、CKD)	・活動希望のあった企業には対応 ・森林整備の内容について調整した	・雨天時でも実施可能なプログラムの検討	・活動申し入れがあった企業に対する対応や支援	・企業による森林整備や森林環境保全活動を実施(ワタミ・SEF、カルビー、豊田自動織機、CKD) ・活動相談への対応
		海上の森サポーターに対する活動支援  	・センター行事のチラシを配布 ・山の会「くらら」による清掃活動に協力(11/12)	・合意ができた活動について必要な支援を実施した	・必要な活動に対する支援要請には随時対応していく	・必要に応じて情報提供	・必要に応じて情報提供予定